

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立長門小学校 校長 細山貴信

1 学校教育目標

明るく元気な子	自ら進んであいさつし、体を動かして活発に遊び活動していく子
自ら考え学び合う子	主体的・対話的で深い学びをしていく子
仲よく助け合う子	人を思いやり、優しい言葉で関り合っていく子

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ・学校図書館に親しみ、読書の楽しさ、喜びを味わわせ豊かな心情を養う。
- ・学校図書館の資料を効果的に利用し、自ら考え正しく判断する主体的学習態度を育てる。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 10,241 冊（蔵書基準冊数 7,480 冊）／ 蔵書率 136.91%（前年度 136.37%）									
	② 新規購入図書 453 冊 ／ 廃棄図書 407 冊 ／ 増減冊数 46 冊増									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.4%	1.4%	6.9%	5.9%	11.4%	4.8%	2.6%	6.9%	2.8%	55.8%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：9：00～15：45（前年度からの変更 なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 62.94冊（前年度末：67.7冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 75.5%（前年度末：73.8%）									

(令和5年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 10,093 冊（蔵書基準冊数 7,480 冊）／ 蔵書率 134.9 %									
	② 新規購入図書 457 冊 ／ 廃棄図書 605 冊 ／ 増減冊数 148 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.5%	1.5%	6.4%	5.7%	11.6%	5.2%	3.0%	6.8%	2.9%	55.5%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 1 開館時間：9:00～15:45（前年度からの変更 なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 73.1冊（前年度末：62.9冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 90.8%（前年度末：75.5%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①やさしい読み物に楽しみ、すすんで読もうとする意欲を育てる。 ②学校図書館に親しみ、利用の仕方の基礎的な知識、技能を身に付ける。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館の利用の仕方や、本の扱い方、本の並び方等について知る。		① 学校図書館オリエンテーションを実施したクラス100% ② 各クラス月2回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行う。 ③ 「長門低学年おすすめの本」を含め一人当たり年間30冊以上の本を学校図書館で借りて読む。
② 図鑑や知識の絵本などを読み、いろいろなことに興味を持って読むことができる。		
③ 学校図書館や、学級文庫の本を利用し読書の経験を重ねる。		
目標達成状況		
① 学校図書館オリエンテーションを実施した。 ② 少なくとも月3回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行った。 ③ 「長門低学年おすすめの本」を含め、一人当たり年間72冊以上の本を学校図書館で借りて読んだ。		

第2学年	①いろいろな読み物に楽しみすすんで読もうとする意欲を育てる。 ②学校図書館に親しみ、利用の仕方の基礎的な知識、技能を身に付ける。
今年度の成果目標	達成基準
①自分が興味のある本、また、読み聞かせや本の紹介を参考にし、いろいろな本に興味をもち、読書することができる。 ②図鑑や知識の絵本などを使い、自分の知りたいことを見付けることができる。 ③学校図書館や学級文庫を利用し、読書をする経験を重ねる。	①学校図書館オリエンテーションを実施したクラス100% ②各クラス月2回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行う。 ③「長門低学年おすすめの本」を含め一人当たり年間30冊以上の本を学校図書館で借りて読む。
目標達成状況	
① 学校図書館オリエンテーションをすべてのクラスで実施した。 ② 少なくとも月3回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行った。 ③ 「長門低学年おすすめの本」を含め一人当たり年間58冊以上の本を学校図書館で借りて読んだ。	
第3学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書をしようとする態度を育てる。 ②進んで学校図書館を利用し、適切な資料や情報を集める力を養う。
今年度の成果目標	達成基準
①教科書単元関連図書、長門パスポート、ブックトークなどを参考に、自分の興味のあることに関連した本や、今まで読んだことのないジャンルの本も読むことができる。 ②辞典や図鑑の使い方を理解し、調べて分かったことをまとめ、説明することができる。	①「長門中学年おすすめの本」を含め一人当たり年間30冊以上の本を学校図書館で借りて読む。 ②月2回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行う。
目標達成状況	
① 「長門中学年おすすめの本」を含め一人当たり年間82冊以上の本を学校図書館で借りて読んだ。 ② 少なくとも月3回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行った。	
第4学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書をしようとする態度を育てる。 ②進んで学校図書館を利用し、適切な資料や情報を集める力を養う。
今年度の成果目標	達成基準
①教科書単元関連図書、長門パスポート、ブックトークなどを参考に、自分の興味のあることに関連した本や、今まで読んだことのないジャンルの本も読むことができる。 ②百科事典や図鑑、地図帳等から分かったことを目的と形式を考えてまとめ、説明することができる。	①「長門中学年おすすめの本」を含め一人当たり年間30冊以上の本を学校図書館で借りて読む。 ②月2回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行う。
目標達成状況	
① 「長門中学年おすすめの本」を含め一人当たり年間74冊以上の本を学校図書館で借りて読んだ。 ② 少なくとも月3回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行った。	
第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して自分の考えを広めたり、深めたりしようとする態度を育てる。 ② 学校図書館の資料を積極的に活用し、目的に応じて資料や情報を処理する力を養う。
今年度の成果目標	達成基準
①目的に応じて、本や新聞等の資料を選んで読んだり、何冊かの本や資料を比べて読んだりして、考えを広めたり深めたりできるような読書ができる。 ②本と合わせて、新聞、年鑑、白書、統計などの資料も利用して、目的に合わせた方法でまとめることができる。	①「長門高学年おすすめの本」を含め一人当たり年間20冊以上の本を学校図書館で借りて読む。 ②月1回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行う。
目標達成状況	

① 「長門高学年おすすめの本」を含め一人当たり年間25冊以上の本を学校図書館で借りて読んだ。 ② 月2回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行った。	
第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して自分の考えを広めたり、深めたりしようとする態度を育てる。 ② 学校図書館の資料を積極的に活用し、目的に応じて資料や情報を処理する力を養う。
今年度の成果目標	達成基準
① 目的に応じて、本や新聞等の資料を選んで読んだり、何冊かの本や資料を比べて読んだりして、考えを広めたり深めたりできるような読書ができる。 ② 本と合わせて、新聞、年鑑、白書、統計、年表などの複数の資料を比較して、目的に合わせた方法でまとめることができる。	① 「長門高学年おすすめの本」を含め一人当たり年間20冊以上の本を学校図書館で借りて読む。 ② 月1回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行う。
目標達成状況	
① 「長門高学年おすすめの本」を含め一人当たり年間49冊以上の本を学校図書館で借りて読んだ。 ② 月2回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行った。	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ・ 図書館の蔵書構成を基準値に近づけられるように、新規図書購入計画を作成する。 ・ 狭い学校図書館を有効に活用するために書架のレイアウトや学級文庫の活用等を工夫していく。	・ 6つの分類において昨年度より調べ学習の本などで古いものを処分し、本の精選を行えた。 ・ 今年度は新たに「調べ学習ルーム」を作り、読み物と調べ学習の本を分け、調べ学習をしやすい環境づくりができた。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ・ 調べ学習時に必要な資料等のレファレンス対応を依頼し、学校図書館を活用した学習活動をスムーズに実施する。 ・ 学校図書館支援員と協力し、国語の授業時にオリエンテーションを実施する。	・ 調べ学習時、テーマごとに資料等をまとめて準備してもらうことで学習活動をスムーズに実施することができた。 ・ ほとんどの学年が前年度よりも1人当たりの年間貸し出し数が増えた。児童全体に学校図書館の利用方法や本の正しい扱い方が浸透している。
【その他】 ・ 公共図書館の「調べ学習用図書」の配送サービスを効果的に活用する。	・ 学校図書館では賄いきれない量、種類が必要な際に活用し、児童の手に行き渡るようにした。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館の利用や読書活動の促進を目的に、全クラスを対象とした教員による読み聞かせを年間8回実施した。 ・ 図書委員会の活動では、学校図書館利用者を増やすための取組として、図書委員会児童による読み聞かせや本の紹介、読書ビンゴカードの作成等を行った。 ・ 蔵書構成割合を基準値に近付けるため、主に調べ学習に必要な資料等の配備を進める。 ・ 3年生以上のタブレットPC利用時間が増えたことで、空き時間に読書をする児童が減ってしまっているため、学校図書館の利用、読書に親しむ時間を意識的に増やす必要がある。 ・ 朝読書の徹底、国語の時間を利用した学校図書館の利用をより進めていく。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

<ul style="list-style-type: none"> ・ AIドリル強化月間と読書旬間が重なっていたため、十分な読書の時間を確保することができなかったため、読書旬間の時期を重ならないように時期をずらす。 ・ 100冊パスポートの本の内容を見直す必要があるため、来年度は実施の仕方を取り組みやすいものに変更する。
